

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

外来血液透析患者の嚥下機能障害の実態と有害事象に関する研究

2. 研究責任者(当院)

所属：リハビリテーション室

氏名：川上里奈

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：腎臓内科

氏名：藤井隆之

所属：リハビリテーション室

氏名：三嶽侑哉、田畑吾樹、大野隼汰

4. 研究対象者

2024年12月1日～2027年10月31日の間に聖隷佐倉市民病院において外来通院している血液透析患者

5. 研究の必要性

血液透析 (hemodialysis: HD) 患者は、腎機能障害に加えて、長期の透析治療や合併症、加齢、低栄養、サルコペニアなど多様な健康課題を抱えている。その中でも嚥下機能障害は、誤嚥性肺炎の発症や栄養摂取量の低下に関連する因子であり、患者の生命予後や生活の質 (health-related quality of life: HRQOL) に重大な影響を及ぼす。しかし、HD 患者における嚥下機能障害の有病率や臨床的特徴については、先行研究が限られているのが現状である。HD 患者における嚥下機能障害の実態とそれに関連する有害事象の発生状況を明らかにすることは、予防的介入の構築に直結する重要な課題である。本研究は、嚥下機能障害の実態と有害事象予防のための基礎データを提供し、透析医療の質向上および患者の予後改善に資することを目的とする。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

後方視的研究であり、日常診療にて収集した情報のみを使用するため、本研究によって生じる個人への影響はないと考えられます。

今回の検討により医学上の貢献の予測としては、身体機能の評価を行うことで、転倒や入院等の予後予測につながることで、早期にリスクが高い患者を抽出でき他職種で予防に取り組むことが可能となると考えられる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151 (代表)

担当者氏名：川上里奈

対応時間：8:30-17:00